

経済理論学会福島大会 一般分科会 セット企画

韓国資本主義の構造と動態
報告:「うしなわれた10年」にたじろぐ韓国
—グローバル化—
と『国民』経済の相克—

明治学院大学国際学部
附属研究所名誉所員 涌井秀行

1

NICs論/「漢江の奇跡」としての韓国経済

- NICsとしての韓国:1978年OECDレポート
- かつての植民地の急成長:工業生産力発展のスピードに驚愕=
勝因:輸入代替→輸出志向工業化 政策転換(=後発性利益
「理論」)
- 「難癖をつけようとする痛々しいほどの××,なぜ素直に喜べない
のか」と諷められる。
- 発展のスピードではなく「型」が,構造が問題
 - 旧植民地途上国の停滞の克服(構造問題)
旧植民地/途上国 独立後の停滞=その構造にあり
低付加価値1次産品輸出=高付加価値労働手段輸入=脱出
→政策 輸入代替工業化政策→失敗=経常収支赤字=債務
輸出志向工業化政策→成功 どういう構造なのか。
韓国資本主義=外生的再生産循環構造

2

韓国 外生循環構造—その1(断層撮影)

表××-3 2010年産業連関中間投入輸入比率 単位:%

	電気機器	半導体・デバイス	電気信号装置	その他電気機器	コンピュータ・関連装置	通信・ビデオ・音響装置	家庭用電気機器	精密機器	自動車	中間需要計
電気機器	26	38	56	24	28	41	21	17	16	22
半導体・デバイス	49	57	80	75	73	81	64	47	77	65
電気信号装置	6	2	8	2	6	13	38	14	4	9
その他電気機器	38	36	51	34	52	58	36	26	60	41
コンピュータ・関連装置	3	78	81	2	86	13	1	32	9	57
通信・ビデオ・音響装置	45	27	42	24	22	31	49	37	28	26
家庭用電気機器	12	0	0	6	47	9	12	56	13	7
精密機器	30	76	80	64	47	79	3	70	68	44
自動車	64	0	0	0	1	1	5	3	13	11
中間投入計	21	55	32	33	45	35	12	27	15	25

5

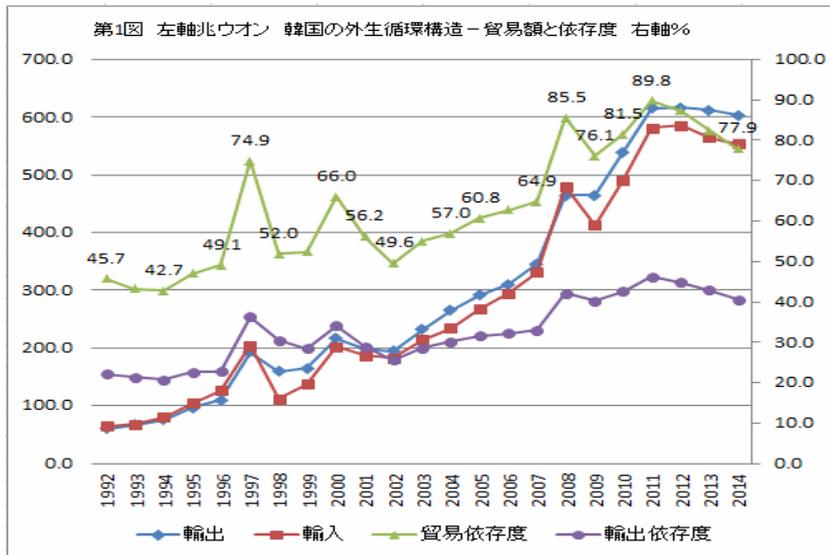
韓国 外生循環構造—その2(断層撮影)

表××-5 2010年産業連関最終需要、国産、輸入比率 単位=%

	最終需要に占める割合				総供給=最終需要に占める割合					
	中間需要割合	個人消費	民間固定資本形成	輸出	最終需要割合	総需要	国産	輸入	内国税等	総供給計
繊維・衣服	41	48	0	47	59	100	79	17	4	100
電気機器	68	1	26	70	32	100	81	18	1	100
半導体・デバイス	46	1	0	98	54	100	70	30	0	100
電気信号装置	37	0	0	96	63	100	96	3	0	100
その他電気機器	74	2	0	96	26	100	69	31	0	100
コンピュータ・関連装置	38	17	22	57	62	100	53	45	2	100
通信・ビデオ・音響装置	25	24	10	62	75	100	85	13	2	100
家庭用電気機器	35	31	9	57	65	100	91	6	3	100
精密機器	51	13	40	38	49	100	53	43	4	100
自動車	36	22	17	60	64	100	85	6	4	100
建設・修理	9	0	82	0	91	100	92	0	8	100
中間投入計	52	34	17	34	48	100	79	15	3	100

6

外生的再生産循環構造の検出歴史—2010年変調



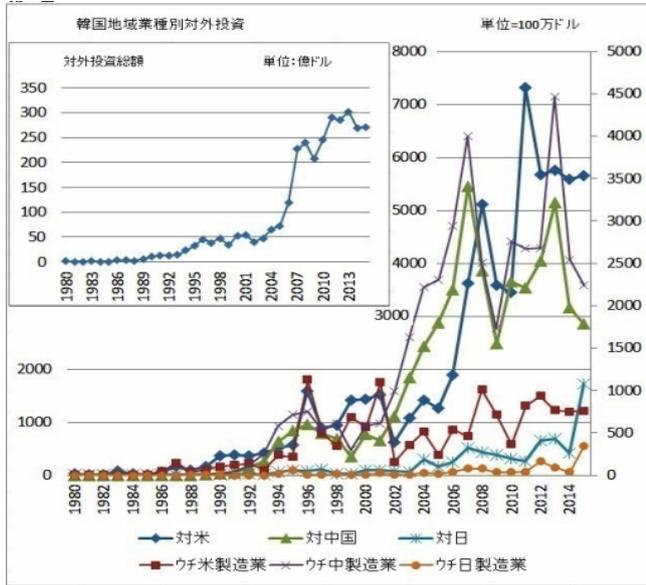
7

為替の「安定」→[ウォン高=円安]競合輸出品輸出不振 外生循環構造根底にある問題を見よ



8

外生循環の本格化=国民経済の劣化(産業空洞化)

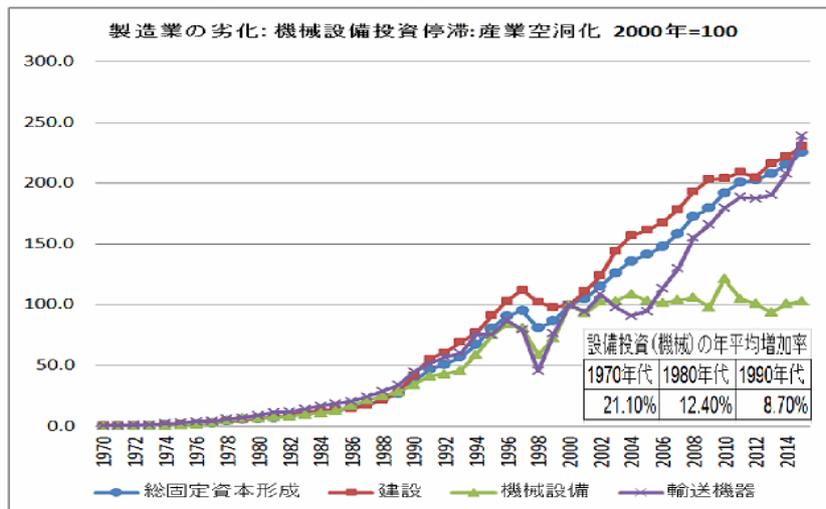


2000年代初頭開始
2005/6年頃～急増
海外投資
対中国=製造業投資
スライドp4

**外生循環の本格化
=産業の空洞化
=国民経済の劣化**

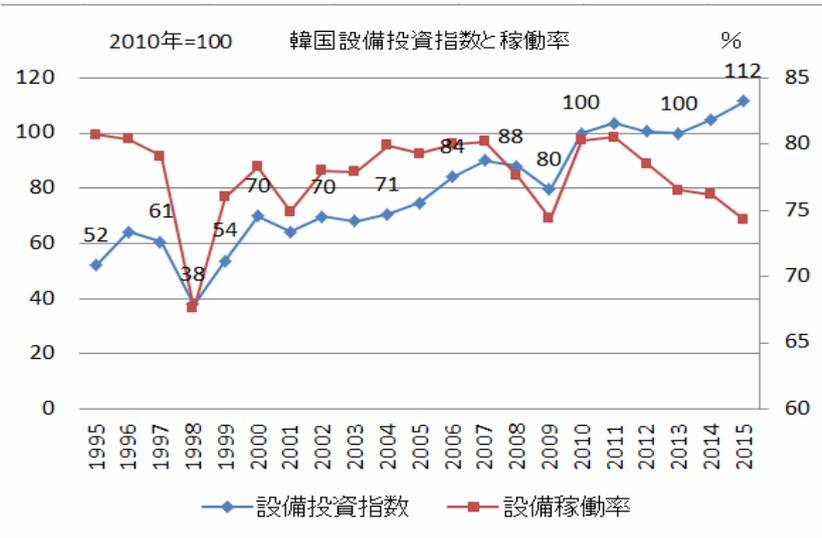
9

資本; 国民経済劣化=輸出鈍化=固定資本形成鈍化p1



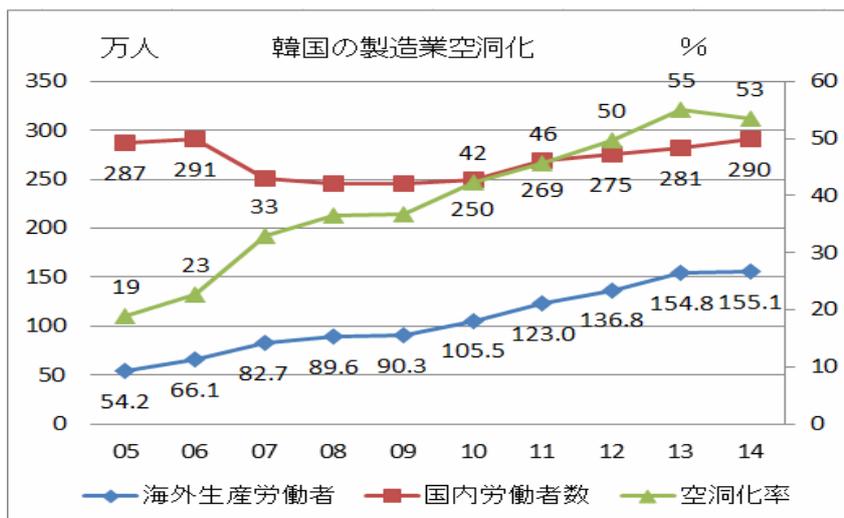
10

輸出鈍化=固定資本形成鈍化→国民経済劣化p2



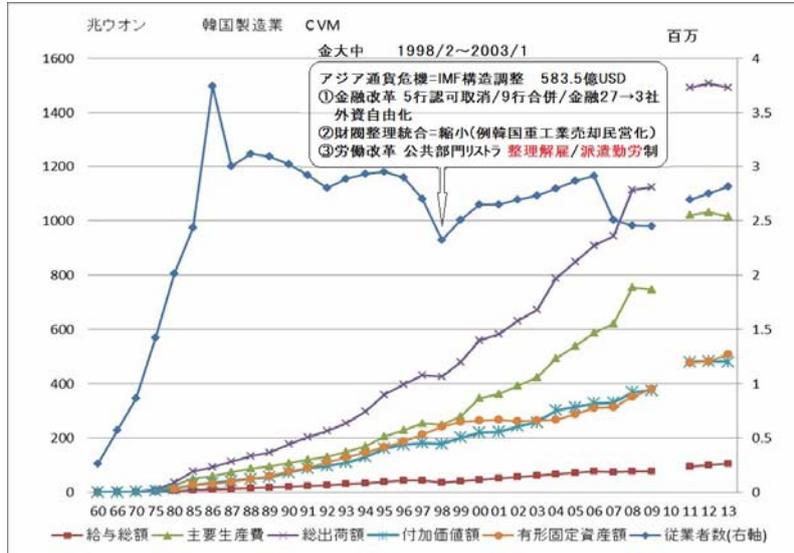
11

「漢江の奇跡」=成長後光に隠れていた構造問題は、外生循環構造の本格化と共に雇用の空洞化・破壊(格差)として表出;国内雇用は海外雇用へ



12

外生循環の資本賃労働構成



13

失われた10年→露呈する構造的格差:「三層」格差
 外生循環の本格化＝成長の陰に隠れた矛盾の表出/深刻化
 ＝前より良くなる暮らしへの期待喪失

製造業企業規模格差			労働者1人当たり 単位=人, 万ウォン					
年	労働者数	割合%	賃金	格差%	固定資本	格差%	出荷額	格差%
2004年	5~9人		1394	36	3704	17	10291	16
	100~199	81	2326	61	8624	40	26288	40
	500人以上	19	3836	100	21798	100	64983	100
	総計/平均		2347		9496		28184	
2013年	5~9人		2585	44	8722	22	21174	17
	100~199	79	3422	58	15360	40	42831	34
	500人以上	21	5880	100	38872	100	125126	100
	総計/平均		3697		18049		53019	

賃金・固定資本・出荷額の格差500人以上の企業を100とした割合

14

社会現象その1:三層格差の上の財閥 =財閥社員でなければ人にあらず

■財閥10社の売上946兆ウォン=GDP77%(中央日報
2012/8/27) 粗付加価値/GDP≒50% 輸出割合?調査中
財閥の全雇用者に占める割合=6.9%(朝鮮日報2013/4/4)
財閥を中心の上位30グループ・193社の部長クラス以下の平均
年収6349万ウォン(聯合ニュース2014/9/24)

■格差にあえぐ若者たち

○2013年10月13日、サムスングループ新卒者採用試験SSAT
(SamSung Aptitude Test)を韓国5大都市・ロサンゼルス・
ニューヨーク・トロントで実施=2013年下半期新卒採用予定
5500人]10.3万人応募ウチ9.3万人受験

○「韓国 就職浪人街」(鷺梁津 考試街)

<http://www6.nhk.or.jp/wdoc/backnumber/detail/?pid=081116>

学生の机の前 激励フライヤー「人並みに生きよう」

15

社会現象その2:強まる財閥批判2014年

- ナッツ・リターン事件 大韓航空前副社長、趙顕娥
チョヒョナ被告(40)ソウル高裁 懲役10月、執行
猶予2年(求刑・懲役3年)の判決

- セウォル号(세월호:世越號)

- 二つのドラマ

映画「もう一つの約束」サムソン電子半導体工場で
働く娘を白血病でなくした家族の実話=財閥批判の
異例の映画 <https://www.youtube.com/watch?v=dEw3fJgSBC0>

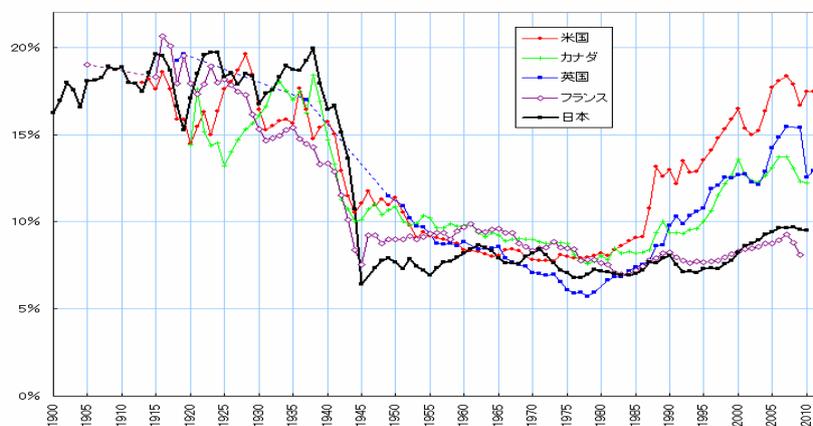
テレビ「未生(미생)」高卒非正規の若者が格差に直
面(賃金:正規の6割以下)

<https://www.youtube.com/watch?v=B4a6OZkixXM>

16

冷戦構造溶解・「グローバル化」と所得格差の拡大

高額所得者(上位1%)の所得シェアの長期推移(日米英仏加5カ国比較)



(注) 税引前所得ベース。キャピタルゲインは含まない。

本川裕「社会実情データ」<http://www2.ttcn.ne.jp/honkawa/4655.html>

The World Wealth and Income Database <http://www.wid.world/#Database>:

19

失われた10年にたじろぐ韓国と20世紀末世界大不況

- 21世紀初頭 ポスト冷戦世界の資本主義の矛盾
- ドル体制下の欧州復興とアジアの工場化
- 軍事インフレ的蓄積=成長(ドル散布)

→膨大な生産力/過剰=20世紀長期不況

21世紀にずれ込んだ米二つのバブルとドイツ東欧新世界

労働者へ分配=「成長」による量的拡大で実現

冷戦構造の溶解=不可 →米の99%・日・韓の格差

製造(デトロイト) → 金融(ウォール街占拠・年越し派遣村
(工業製品の独占不可) ・ノリヤンジン)

「性能100倍価格100分の1」⇒金融

==突き付けられた課題==

強欲でない=成長なき資本主義は可能

ジンテーゼとしての「社会主義」

20